



JAS 認証に関するセミナーが開催されました !

公共工事においては JAS 製品が求められるようになりました。政府は「バラつきがなく、安心して使える木材を安定的に供給する」ことを目指して、JAS の普及に努めています。鹿児島県では JAS 工場が少ない為（構造用製材 7 社、人工乾燥構造材 4 社、機械等級区分 1 社）、認証の必要性と認証工場となる為のプロセスの説明であった。「認証かごしま材」の認証工場は構造材 12 社である。「認証かごしま材」は JAS 相当の品質であるが、「JAS 材」ではない。また認証工場の内 7 社は構造用 JAS の認定工場でもある。これらの工場は JAS 材を出荷できることになるが、何故 JAS 材が少ないのか？ セミナーでも説明があったが、「JAS 材」として出荷するには、JAS 規格に応じた検査が必要であり、県林材協会による格付け検査を 20 日に 1 回受けなくてはならず、連続 5 回合格で、50 日に 1 回の検査に移行するが、これを継続して、なおかつ年 1 回の監査を受けなくては、JAS 表示は出来ない事になっている。毎回の格付け検査が 30,000 円で、年 1 回の監査手数料が 110,000 円、更に検査員の交通費は別途必要となる。これが JAS 工場維持のための費用であり、最初に JAS の認証工場になる為には構造 JAS で 308,000 円、人工乾燥 JAS で 275,000 円、機械等級区分 JAS で 352,000 円に資格取得までの交通実費が掛かっている。従って、JAS 認定工場になっても維持のためのコストを支払ってまでも JAS 製品が見合う価格で売れるかが不透明であるため、大半の工場は年 1 回の監査手数料だけ支払い、JAS 工場の資格を維持しているだけで、JAS 製品を生産していないのが現状である。政府は JAS 製品の普及に努めているが、同等の品質で JAS 表示のない製品が増えてきている中で、公共建築などの JAS 材を指定した建築物以外には JAS 材が普及していないのが現状である。セミナーでは構造計算で、安心安全な建築物を作る為には JAS 表示された構造材が求められるようになると強調された。

福岡おもちゃ美術館へ行ってきました

大人も楽しめる木のおもちゃが沢山ありました。入場料が中学生以上 1,600 円と少し高い感じがしましたが、結構楽しく時間が過ぎました。木育をベースにした玩具が多く、ゆっくり遊んで、ショップで木のおもちゃのお土産も買えます。木の付加価値を高めてくれるスペースです。木材の端材利用で、SDGs にもつながります。一見の価値はあります。

【情 報】

春期「緑の募金」運動を実施しています！

公益財団かごしまみどりの基金では、令和 5 年 2 月 1 日から 4 月 30 日まで募金を行っています。緑の募金は県民の緑化意識の啓発、環境緑化の推進、森林整備の推進などに活用されます。4/15 は天文館でも行います。ご協力をお願いします。

【定休日】

4 月は 1, 2, 8, 9, 15, 16, 23, 30 日

5 月は 3, 4, 5, 6, 7, 14, 21, 27, 28 日となります

宜しくお願いします



大人も夢中で遊んでいます